

北陸学院大学 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

1 教職課程運営部会の役割と運営

教育学部においては令和8年度から学生募集の停止、健康科学部においては令和8年度から教職課程の廃止によって、これまで全学体制で行ってきた教職課程運営部会の役割を各学部に移行し、幼稚園教諭の養成は幼児教育学科に、小学校教諭と中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）の養成は初等中等教育学科に、栄養教諭の養成は栄養学科による運営とし、学科ごとに教育の質向上を目指すことにしました。

これにより、年度初めに実施する教職ガイダンスは各学科で行い、各年次の学生がスムーズに教職課程履修が行えるよう支援しています。

2 教職相談支援室における指導・支援体制

○教育学部

既存の教職相談支援室は元小学校教員で管理職の経験を有する初等中等教育学科の教員が担当することになりました。当該教員は教育実習担当でもあることから、他の教員と連絡を密に取り、教員志望の学生の適性等の進路相談に始まり、学外での活動（教育実習、介護等体験、プレ実習、学習支援ボランティア活動）を行う際の事前調整及び指導・連絡をサポートしています。

2年次から参加可能な教員採用試験対策に関する業務を担い、定期的な講座開催と教員養成を徹底サポートしています。

○健康科学部

教職指導経験者を中心に複数の非常勤職員を配置して、実習担当者と必要に応じて連絡を取っています。さらに適性等の進路相談や教職課程履修学生が学外での活動（実習、ボランティア）を行う際の事前相談及び指導・連絡をサポートできる体制を充実させています。

3 学校ボランティア等の活動支援

○教育学部

教育現場の参観実習を実習担当者の支援のもとに1年次早期より行っています。特に、学童施設、小学校でのボランティア活動をプレ実習と位置付けることで、主体的に参加しやすい環境を提供しています。小学校教員志望者には、教職相談支援室との連携により、1年次より北陸学院小学校、2年後期からは大学近隣の小学校において週1回程度の学習支援の継続参加と行事参加（補助）を行っています。主として3年次の実習終了後においても学習支援ボランティアとして現場実践の場を継続していくことができるようにしています。

ボランティア活動への参加については、金沢市教育委員会と連携・協力しながら、授業や行事（金沢市小学校連合体育大会の補助など）に学生の参加を促しています。市内を中心に周辺地域の幼稚園や小学校の行事にも補助係として積極的に参加できるよう促しています。

○健康科学部

栄養教諭免許状取得希望者全員に対し、小学校及び中学校の様々な学年の授業を計画的に参観できるよう指導しています。さらに、幼稚園児や小学生と一緒に調理実習を行ったり、子どもたちへの食育実践を行ったりする機会を得ています。また、石川県からの要請もあり、石川県内の高校生を対象にした食育授業に参画しています。

4 教育委員会及び地域との連携

○教育学部

教育委員会との間で、上記の学校ボランティア活動に係る連携・協力体制が構築されており、毎年一定数の学生が学校教育活動に参加しています。また、1年次の段階より地域の学童施設に

においても学生が子どもたちとかかわる場を設けています。特に、石川県教育委員会との連携においては、石川県公立学校教員採用候補者選考試験（教員採用試験）説明会を学内開催しています。また、「3年受験」が可能になったことから受験希望者を対象とした説明会も実施しています。さらに、石川県教員総合研修センターにおける「いしかわ師範塾」への積極的参加を促しています。

○健康科学部

「栄養教育実習指導」などの科目において、現職の栄養教諭を招いて、教職科目履修学生が学校現場の講義を受け、自由に質疑応答できる機会を設定しています。地域との連携では、地域教育開発センター主催のセミナー（REDeC セミナー）において、地域の園児・児童・その保護者を対象とした食育・調理に関する体験講座を定期的で開催しており、そこに学生も関わり、食に関する情報・技術を伝える学びの機会として活用しています。